

新しい市役所本庁舎のお知らせ

問い合わせ
本庁舎整備推進グループ
(☎)1098



最新
情報
は
こちら

新庁舎の基本設計書が完成しました

3月6日まで実施した本基本設計書のパブリックコメントに計18件の意見がありました。意見を踏まえ完成した本基本設計書は、市公式ウェブサイトでの公開と広報のほりべつ2023年5月号と6月号でお知らせします。

今後は、本基本設計書に基づき、新庁舎の建設工事に必要となる詳細な設計（実施設計）を進めます。



◀▲新庁舎の透視図の一部

○パブリックコメントに提出された意見の一部

市の玄関になる所なので、市の歴史がわかるような工夫をすると思う

バス路線などの交通の利便性や駐車場がしっかりしなければ誰も集まらないと思う

学習スペースなど、どのような使用者を想定しているのかを丁寧に説明する必要があると思う



現在の市役所庁舎跡地の利活用について

現在、中央地区のまちづくりの根幹となるコンセプト（目指すべき方向性）を決めるため、ワーキンググループを中心に、学生委員会とも連携しながら協議を進めています。

今後は、過去の中央地区のまちづくりに携わってこられた先達の体験談や他市のまちづくりの事例研究などをコンセプトの参考としていきます。

協議内容については、市公式ウェブサイトに掲載していきますので、ぜひご覧ください。



▲学生委員会の様子

とうほんせいそう 東奔西走

3月4日、日本工学院北海道専門学校サテライトオフィスenを会場に1日無料開放デー『ジモトでノマド』を開催しました。当日は、市民など多くの人が会場を訪れ、サテライトオフィスを見学したり、持ち込んだ本を読んだりするなど、思い思いの時間を過ごしていました。

また、当日限定で交流カフェ『ジモトのマド』を開設。市の地域おこし協力隊が、のほりべつ牛乳などの地元食材を使用したカカオミルクティーやパンなどを販売し、訪れた人々を楽しませました。

落ち着いた空間で
自分の時間を
ジモトでノマド



▲思い思いの時間を過ごす参加者



▲協定を締結した三者（左からアサノ・ウエダ生コン、登別市、昭和生コン）

**消火活動に強い味方
災害時における消防用水等の確保に関する協定**

2月8日、市は、市内コンクリート製造業者のアサノ・ウエダ生コン、昭和生コンの2社と『災害時における消防用水等の確保に関する協定』を締結しました。

この協定は、平成28年に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災の際、同市のコンクリート製造業者がミキサー車で水を運送し、消火活動に大きく貢献したことを受け、登別市でも体制を整えることとしたものです。

今後は、大規模災害により断水した場合でも、2社から消防用水の運送支援を受け、スムーズな消火活動が可能となります。

